

2024年7月1日

横浜ゴム、中国に乗用車用タイヤの新工場を建設 成長する中国市場への供給能力を増強

横浜ゴム（株）は中国に乗用車用タイヤの新工場を建設します。生産能力は年産 900 万本でスタートし、将来的な拡大も想定しています。投資額は 19 億 6,000 万元（約 367 億円）で 2026 年第 2 四半期から生産開始を予定しています。

新工場建設は中国現地政府の都市再開発を目的とした移転要請に応じたもので、現地のタイヤ生産子会社である杭州優科豪馬輪胎有限公司の既存工場を移転し、同じ杭州市錢塘新区内に新工場を建設します。

今回の新工場建設は中国の浙江省・杭州市・錢塘新区政府が関わる重要な外資投資プロジェクトとなるため、新たに杭州錢塘優科豪馬輪胎有限公司を設立します。

新工場は 2024 年度から 2026 年度までの新中期経営計画「Yokohama Transformation 2026 (YX2026)」(ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーク) のタイヤ消費財の成長戦略に掲げた「1 年工場」の第一弾となります。新工場立ち上げにおいては、横浜ゴムが今まで培ってきたノウハウだけでなく、現地で実績のある協力企業のノウハウも取り入れることで低コスト・高効率生産を実現し、市場競争力の高い工場を 1 年で立ち上げることに挑戦します。

また、今回の移転を機に、中国市場における今後のさらなる需要増を確実に取り込むため、生産能力を 300 万本増強します。特に新車装着向けは EV など新エネルギー車への納入を拡大し、市販向けはグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」や SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」などの高付加価値品比率を上げるためにハイインチタイヤの生産能力を強化します。

また、この新工場建設に先立ち、杭州市政府の支援の下、同市内に所在する有力な新エネルギー車生産販売会社である LEAPMOTOR 社などとの戦略提携に調印いたしました。今後も新エネルギー車への納入拡大を目指し、自動車メーカーとのさらなる関係強化を図ります。

横浜ゴムは「YX2026」のタイヤ消費財の成長戦略において「1 年工場」への挑戦のほか、高付加価値品比率の最大化を掲げ、その主力である「ADVAN」「GEOLANDAR」「ウィンタータイヤ」、そして 18 インチ以上のタイヤの拡販に取り組んでいます。また、各地域の市場動向に沿った開発・供給・販売体制などを強化する「商品・地域事業戦略」を推進しています。

<杭州錢塘優科豪馬輪胎有限公司の概要>

本社・工場所在地： 浙江省杭州市錢塘新区
設立： 2024 年 6 月
出資比率： 横浜ゴム 100%
事業内容： 乗用車用タイヤの生産
生産開始（予定）： 2026 年第 2 四半期
生産能力： 900 万本／年（既存工場 600 万本／年）

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：背戸柳（せとやなぎ）
TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552